

令和6年度

# 妙典の教育

第1回学校運営協議会

令和6年5月30日(木)

## ❖ 学校経営の理念

# Well-Beingな学校づくり

Well-Beingとは…

誰もが心身ともに満たされた、持続的な幸せにある状態

子ども、保護者・地域、教職員の【Well-Being】の実現

- ・子どもが、通いたい学校
- ・保護者・地域が、通わせたい学校
- ♥朝、目覚めたら行きたい学校、放課後、帰りたい家庭
- ・教職員が、働きたい学校

## ◆学校教育目標

**主体性**を育てる

～自主・自律・共生

## ◆主体性とは

# 自分で決めて、自分で実行する力

自分の願いや目標を持ち <自主>

自分で考え、判断、行動し <自律>

多様な人々と協働しながら <共生>

自らの可能性を発揮していく資質・能力

## ◆目指す子ども像

「自分で考えて、決める子」

自らの足で、  
前に力強く一歩を踏み出せる子

# ❖「自分で考えて、決める子」の 3つの心

## ▲自主 いけいけはあと

- 自分から進んで行動できる
- 自分で考えたり、判断したり、工夫したりできる
- どんなことでも、前向きに考えて行動できる



## ▲自律 しっかりはあと

- 自分で決めたことは、自分で守ることができる
  - 自分の行動や心を自分でコントロールできる
  - 「あたりまえ3ヶ条」を守ることができる
- ①時間厳守 ②整理整頓 ③挨拶励行



## ▲共生 あったかはあと

- 他人の気持ちがわかる
  - 他の人を尊敬できる
  - 他の人と協力しながら行動できる
- 【共感】  
【敬意】  
【協働】



# ◆ 目指す学校像

## ■ 信頼される学校

- 子どもや保護者の思いや願いに寄り添う学校
- 安全・安心で、教育環境の整った学校
- 保護者、地域と連携し地域とともに歩む学校

# ◆ 目指す教師像

## ■ チーム「妙典小」

- 子どもを主役にする教職員
  - ・多様性を尊重しながら、一人一人の子どもを理解し、人権意識を持って子どもを主役にできる教職員
- 協働する教職員
  - ・働き方改革を進めるとともに、それぞれのよさや専門性を生かしながら協働し、喜びや困難を共有する教職員
- 学び続ける教職員
  - ・自己を見つめ、課題意識と向上心を持ち研鑽に励む教職員



# ◆教職員の基本姿勢

## ■ 凡事徹底

— 松下幸之助、鍵山秀三郎 —

- 当たり前前を当たり前前にする → **当たり前前を見直す**
- 簡単なこと、だれにでもできることを徹底してやる(平凡を非凡に努める)

## ■ 時を守り、場を清め、礼を正す

— 森信三(教育哲学者 1892~1992) —

- 時間厳守、整理整頓、挨拶励行

# ◆学校教育目標の実現に向けて

- 生徒指導の3つの機能
- 4つの重点目標
- 12のアクション

# ◆生徒指導の機能を生かした支援

## ■ 生徒指導の3つの機能

(1) **存在感**:一人一人の自己存在感を大切にする。

一人一人の独自性を大切にして、児童が存在感や自己肯定感を持てるようにする。

(2) **自己決定**:自己決定の場や機会を大切にする。

児童が自分で考えて、決めて、実行できるようにする。

(3) **共感的人間関係**:共感的な人間関係を大切にする。

児童と児童、教師と児童が、人間的なふれあい(弱さや不安の自覚)のもとで、共感的に理解し合うようにする。

# ◆重点目標

## ■ 4つの重点目標

- (1) 確かな学力  
→ 主体的な学び
- (2) 豊かな心  
→ 認め合う仲間
- (3) 健やかな体  
→ 健康安全のセルフ・マネジメント
- (4) 信頼される学校  
→ 寄り添う支援

# ◆アクション

## ■ 12のアクション

### (1) 主体的な学び・探究的な学び

- ① 言語活動の充実(読書教育推進校)
  - ・読む、書く、話す、聞く活動の工夫・充実
- ② ICT(タブレット)活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実
- ③ ユニバーサル・デザインの視点を生かしたわかる授業づくり
  - ・構造化 ・視覚化 ・焦点化

# ◆アクション

## (2) 認め合う仲間・心のバリアフリー

- ④ 学級経営の充実
  - ・自己肯定感の育成
  - ・多様性の尊重
- ⑤ 道徳科を要とした道徳教育の充実
  - ・「考え・議論する」学習活動
- ⑥ 豊かな体験活動
  - ・地域交流
  - ・異年齢交流

# ◆アクション

## (3) 健康安全のセルフ・マネジメント

- ⑦ 自ら運動に親しむ資質・能力の育成と体力向上
  - ・教科体育の充実
  - ・運動の日常化
- ⑧ 健康安全教育の充実
  - ・基本的な生活習慣
  - ・食育
  - ・危険回避能力

# ◆アクション

## (4) 寄り添う支援

- ⑨ 子ども支援体制の充実・強化  
(子ども支援部会、ケース会議、スマイルプラン、個別の指導計画、児童・保護者面談、児童アンケート等)
- ⑩ 保護者・地域と連携した教育活動の展開  
(生活科、総合的な学習の時間、特別活動等)
- ⑪ 適時適切な情報発信と学校公開  
(授業参観、懇談会、学校HP)による開かれた学校づくり
- ⑫ 学校運営協議会での教育ビジョンの共有並びに  
学校評価による学校経営改善の推進